



北海道浦河町「べてるの家」訪問 ～「障害」と「発達特性」～



去る6月20日～22日に北海道浦河にある「べてるの家」を訪問してきました。北海道の最南端のえりも岬に近いところにあり、日高山脈を背に太平洋に面した豊かな町で農業と漁業が盛んで、特任競走馬は国内有数の頭数を誇る街です。1984年(昭和59年)に設立され**精神障害等**をかかえた当事者の地域活動拠点で、2002年法人化―就労継続支援B型、生活介護、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、グループホーム等を運営、有限会社福祉ショップ「べてる」などの活動をされています。

そこで暮らす「**当事者**」の方々、一般に言う利用者にとっては、**生活共同体、働く場としての共同体、ケアの共同体**という3つの

性格を有しています。元々は1978年(昭和53年)に、浦河赤十字病院の精神科を利用する統合失調症等をかかえた、当事者達による回復者クラブ「どんぐりの会」の活動が端緒となっており、浦河教会の旧会堂で一緒に生活をしながら共に日高昆布の産地直送などの起業を通じた、社会進出を目指すということで誕生したそうです。

「**過疎もすてたもんじゃない**」「**勝手に治すな自分の病気**」「**社会復帰から社会進出へ**」などの標語を掲げ、精神科病棟から地域に繰り出した若者たちが教会の一室を借りて起業(日高昆布の下請け)することが始まった歩みは「**困り込んで、管理し、服従**」を強いる「**精神医(困)学、看(管)・福(服)祉**」から自立の模索であったそうです。現代の**管理社会**への挑戦とも聞こえます。

私の実家の話ですが、父の認知症が進みその介護疲れにより母が倒れ、やむを得ず、父を精神科病院で預かってもらうことになりました。自己中心的な父親は病院において扱いにくい存在のようで、父の暴言や暴力を抑え込むために、**身体拘束、投薬**などにより、**病院に困り込まれ、管理され、服従させられる**羽目に陥りました。家族の都合による入院ですし、医師や看護師も精一杯対応してくださっていますが、結果的には、みるみる体力が衰え2ヵ月程でもう寝たきりに近い状況になっていました。花一輪も一枚の絵も掛けられていない精神科病院では医療的ケアは十分かもしれませんが、**一人の人間としての尊厳は守られているのか**考えると大きな疑問が生じたのです。

病院だけでなく義務教育である小学校や中学校などはどうでしょうか？こどもの学びと人間成長を助け守る場所だと思われるかもしれませんが、実際は**管理され、決められた教育カリキュラムに沿って、学ぶ**というよりは**教え込まれる場所**という側面が強いように感じる時があります。それゆえ、そのルールに乗れないこどもは不登校や引きこもりとなり現在、それらのこどもは全国で30万人もいると報告があります。

では、保育園はどうでしょうか？近年はこどもの**「発達特性」**が大きく取り上げられるようになりました。「**自閉症**」「**注意欠陥多動性**」「**学習障害**」「**愛着障害**」などです。年長になれば4月ごろから就学相談があり、10月頃には就学前面接があります、そこで何かしらの「**気になるこども**」は「**いくしあ**」等の専門機関に相談がかけられ、さらに就学前施設(幼稚園、保育園等)から情報を収集し1年生を迎えるに当たって、**特別支援学校、特別支援学級、通級、クラスでの加配の必要性**などが事前に審議されます。ですから保育園としても就学前にできうる限り、小学校生活がスムーズに過ごせるように努力します。ところが、それらの「**特性**」を「**障害**」と捉え、こどもに大きな問題があるかのように誤解している保護者や教師もいます。

「**障害**」であるかないかというのは、生活に支障があるから「**障害**」というのであって、こどもを取り巻く環境(地域社会、保育園等、小学校、教師、保護者)側に配慮があれば「**障害**」にはならず、単なる個性と見方が変わります。つまり、「**障害**」＝「**特性**」ではないのです。

「べてるの家」には精神障害のある方が自らそのデコボコを「**当事者研究**」と題し自分を研究し、分かち合い、本来の自分を取り戻していくことができる環境があります。こどもに関しては、自分のデコボコを研究することは難しい面がありますので、**大人がそのデコボコを「障害」と捉えず、そのこどもの可能性の詰まる「特性」と捉えて見守る必要がある**のです。

2024年8月1日

園長 中田一夫

8月の行事予定

毎週金曜日…10:00～ 幼児礼拝

- 2日(金) 18:00～ 5歳児1泊キャンプ説明会
- 11日(日) 山の日
- 12日(月) 振替休日
- 13日(火) } **全園児お弁当日**
- 14日(水) } ※傷まないように保冷剤・保冷バッグ
- 15日(木) } などで工夫してご準備ください。
- 27日(火) 誕生会
- 27日(火) 口座振替日 →
- 28日(水) 避難訓練(暴風雨対策)
- 29日(木)～30日(金) 5歳児1泊キャンプ(京都YMCAリトリートセンター)

～おしらせ～

コスモ運動あそびは自由登園期間中でもあり
8月はおやすみです。9月をお楽しみに!

～8月27日(火)口座振替のお知らせ～

保育料(乳児)、延長・預り保育代、主食代(幼児/1,100円)、
副食代(幼児/4,950円)、手数料(123円)等を徴収いたしま
す。振替日までに登録口座に資金をご準備ください。

保育園のいろんなところで使います 再利用にご協力をお願いします!

- ◎ご不要のスーパーの袋・店舗の紙袋など
汚れ物入れ、ごみ袋として使います。
- ◎古着のTシャツ(サイズはフリー大人用もOK)
まだ着られる物は貸し出し用やリサイクルに、
着古した物はボロ布として使います。
- ◎古タオルやバスタオル・タオルケットなど
足ふきマット・雑巾として使います。

夏の休みは家族と過ごすゆったりとした時間

お休み＝お出かけということではなく、お父さん・
お母さんがお休みの日は一緒にお休みして、家族で触
れ合うひとときを! ゆったり、のんびりと過ごす時間
は、こども達にとっては心の栄養となり、嬉しい充電
タイムとなることと思います。



8月生まれのおともだち おめでとう!

ふるた なつはさん 6さい
きたおかたくまさん 6さい
かわの しんさん 5さい
まえだ りんかさん 5さい
かげひらるとさん 5さい
ひらこ おとさん 4さい
にむらあさきさん 4さい
ふなこしえいとさん 3さい

※24時間以内に 37.5℃以上の熱があった場合、お休みをおすすめします。

一日の内で朝の体温が一番低いといわれています。前日の夜に発熱していた場合は、朝に熱が下がって
いてもまた体温が上がってしまい、結果的に長引いてしまうことがよくあります。お休みの調整など
大変かと思いますが、完全に解熱して体調が戻ってから登園することをお勧めいたします。

熱中症に気を付けて! 熱中症にならないために・・・

年々夏の暑さに驚かされる毎日ですが、猛暑・酷暑に負けないで元気に過ごしていきたいですね。
保育園でも保育室の温度・湿度には気を配り、暑過ぎないように冷え過ぎないようにと設定温度を上げたり
下げたりしながら快適に過ごせるようにしています。外気温が高過ぎる時は外遊びを控えたり、屋上では
オーニングを利用しながらプールや水遊びの時間も短くしたり…と色々工夫しながらの毎日です。また、
こまめな水分補給はもちろんのこと、塩分補給も大事とされています。そこで、保育園のお茶(夏の
間は麦茶を飲んでいますが)、塩麦茶にしています。こどもの時に飲んでいたことを思い出す味です。
暑い夏を乗り切る為には、各ご家庭でもすでにされていることと思いますが…1, 外に出る時は帽子&
水筒を持って行こう 2, 直射日光を反射し表面温度が上がりにくい色の服を着る(白・黄色・グレー・
ピンクなど) 3, 外で遊ぶ時は時々木陰で休もう 4, 朝から暑くても朝ごはんはしっかり食べよう
5, お風呂上がりは水分補給して夜ふかししないで身体を休めよう(しっかり寝よう) 6, エアコン
を上手に使おう などがあげられると思います。どうぞ、適度に身体を休めながら今年の夏の暑さに
負けないで元気に楽しく過ごせることを願っております。

副園長 杉原圭美